

- (1) 工事コストの低減
- ③設計手法の見直し

付替村道の明かり道路をトンネルに変更し、工事コストの縮減

水資源開発公団滝沢ダム建設所 付替村道1号トンネル工事

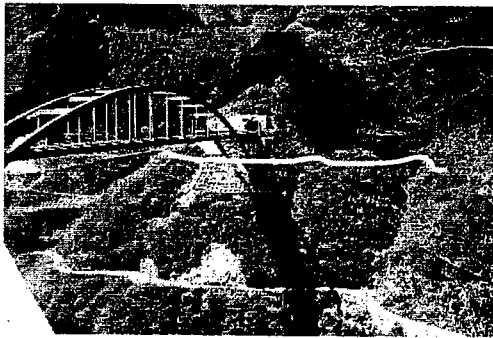
【施策の概要】

付替村道1号トンネル工事区間については、当初道路管理者の協議、要望により、明かり道路として計画していましたが、当該村道計画位置に国道140号中津川大橋及び大峰トンネルが施工されました。このため、中津川大橋の下部を通行する道路となることから、橋台との兼ねあいから構造上擁壁高さが大きくなり多額の費用が必要となるため、道路線形及び道路構造の見直しを行い、道路管理者となる大滝村と協議を重ね、国道トンネル下部を通行するトンネル案に変更して、工事コストの縮減に努めました。

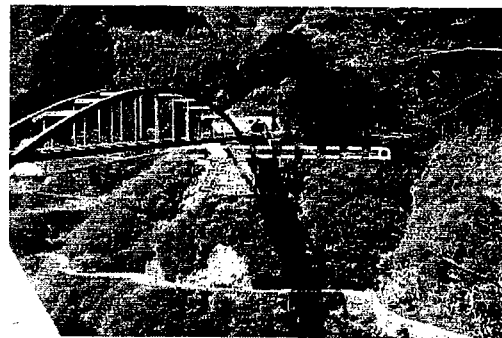
【施策のポイント】

- ・高さの高い擁壁が必要となる明かり道路を、トンネルに変更したことにより、明かり道路に比べ、約9%の工事コストの縮減が図られました。

【施策の実施状況・イメージ図】



イメージ図 (旧)



イメージ図 (新)

